

| | |
|------------|--|
| 会議名 | 第2回港区新技術検討支援業務委託事業候補者選考委員会 |
| 開催日時 | 令和6年5月20日（月曜日）午前10時から午前10時45分まで |
| 開催場所 | 区役所9階911会議室 |
| 委員 | 出席者 5名 委員Ⅰ、委員Ⅱ、委員Ⅲ、委員Ⅳ、委員Ⅴ 欠席者 なし |
| 事務局 | 新技術活用担当 |
| 会議次第 | 1 開会 2 一次審査結果について 3 二次審査について 4 閉会 |
| 配付資料 | 次第 資料1 座席表 資料2 港区新技術検討支援業務委託事業候補者選考一次審査集計結果 資料3 第3回選考委員会進行スケジュール（案） 資料4 二次審査留意事項（案） 資料5 二次審査採点基準表 参考資料1 第1回港区新技術検討支援業務委託事業候補者選考委員会議事録 参考資料2 港区新技術検討支援業務委託事業候補者募集要項等 |
| 会議の内容 | |
| 委員長 事務局 | <p>【1 開会】</p> <p>～事務局から、当選考委員会に係る確認事項を説明～</p> <p>【2 一次審査結果について】</p> <p>次第2の一次審査結果について、事務局から説明をお願いします。 資料2をご覧ください。委員の皆様からいただいた採点結果及び事務局で採点した結果をまとめています。この中で、2点ほど報告と確認をお願いしたいと思います。</p> <p>まず、1点目の報告ですが加点についてです。第1回選考委員会の際に、加点を10点と報告させていただきましたが、48点に訂正させていただきたいと考えています。加点部分については、港区のガイドラインに基づき、事務局採点部分をベースに点数をつけることになっていますが、事務局採点となる見積価格部分を加え漏れていましたので、ガイドラインに則り、見積価格を加えた形で加点部分の算定をさせていただきたいと思います。そのため48点に点数の割合を増やしておりますので、ご了承願います。</p> <p>2点目について、提案事業者の実績になります。各事業者から提示された実</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>績を事務局にて確認し、採点を行いました。当初想定していなかった事項がありましたので、対応について内容をご説明させていただき、委員の皆様にご確認をいただいたうえ、取り扱いを決定させていただきます。</p> <p>まず、事業者1についてですが、実績に港区との契約内容が記載されておりました。当然、港区との契約ですので、事務局で内容を判断できるのですが、事業者1には、統括責任者の業務実績の受託期間の記載について誤りがあり、数ヶ月ずれておりました。ただ業務自体は行っており、開始時期が違う程度で事務局としては軽微な誤りと判断し、そのまま採点に反映させる形で、対応したいと考えています。</p> <p>一方で、事業者2は会社としての実績をいくつか記載しておりましたが、その中の港区との契約実績について、実績の中に今回提案した事業者からさらに委託する予定でいる再委託先の実績を自社の業務実績として書かれておりました。こちらについて、提案事業者そのものの実績ではなく、委託先と再委託先の実績というのは明らかに異なりますので、減点の取り扱いをさせていただきたいと考えています。</p> <p>3点目について、こちらも事業者2ですが、提案事業者の専任性についてです。事務局では、スタッフ1名が港区に常駐のうえ、仕事に対応していただくことを想定しておりました。事業者1と3は1名が基本常駐するとなっておりますが、事業者2については、4名でローテーションという事務局の想定と違う形で提案がありました。ただし、仕様書でも明らかに事業者2のような記載が不可とも書いていないということも考慮しつつ、事業者2の提案については、4人になってしまうとコミュニケーションが煩雑になるという懸念がある点から、事務局としては、専任性について減点の対応を行いたいと考えています。</p> |
| 委員長 | <p>まず、事務局からの報告について我々の意見を申し上げたいと思います。委員の皆様、どうぞ。</p> |
| 委員IV | <p>実績については事務局のご判断で私はよろしいかと思っています。専任性に関しては少し慎重な対応が求められるかと思っています。専任スタッフが現場常駐する場合、契約の性質上、注意が必要な場合があり専任性スタッフに直接指示が入らないことが前提になるため、専任性はそこまで強く主張する必要が無いと考えます。そういう意味では逆に4人ローテーションという提案自体は、結構妥当なのかなと思います。要は窓口としてきちんと一緒に寄り添ってくれるという関係であって、そこに例えば、業務上の指揮命令とかのコミュニケーションがないとするならば、むしろそれは妥当な提案ともいえるなどと考えています。</p> |
| 委員II | <p>今の話、指揮命令系統の有無は契約の性質を判断する上で重要な要素と考えます。常駐スタッフの勤務時間についての詳細な指定がある場合、契約の内容によっては注意が必要かと思われます。私の意見としては、1番目の実績</p> |

| | |
|------------|--|
| 事務局 | <p>のところは微々たるものというか実績としてはあるのでよいのではないかと考えています。2つ目について、業務は丸投げなのでしょうか。再委託先が行っているということですが、契約元の事業者はどのような形になっていますか？</p> <p>再委託の件については、今回提案する事業者と関係ない形で、再委託先と区が直接契約していて、今回提案したときに、たまたま区が委託している業者が、事業者2の下に入っていたので実績として計上したという形ということになります。契約主として、事業者2がいるのではなくて、再委託先が直接行って実績をあげたということになります。</p> |
| 委員Ⅱ | <p>どちらでも取ろうと思えば取れるって感じではありますね。区の業務を行うのは再委託先なので、実績としてはそれだけできるよということをアピールしたかったのかもしれないです。3つ目の話は、専任性について注意が必要というところと、あと、そこを減点とするのか、次の選考に行ったときにそれを評価するという方法もあるのかなと思います。事業者としてはそんなつもりはないという話だと減点するのは不意打ちになるところもあるので、悩ましいです。そういう点も考慮すると、減点せずに次のステージで加味した評価にするということも方法としてはあるのかなという点は意見としてはあげたいと思います。</p> |
| 委員長 委員Ⅴ | <p>他の委員の皆様、ご意見はありますでしょうか。</p> <p>実績の部分については事業者がよりよく見せたい中での、再委託先ですとかグループ会社ですとかそういう認識がない中での提案だったのかなと受け取っております。そういう意味で再委託というのはシビアに見られるという点を意識してもらおうというのが必要なのではという点で減点というのはやむを得ないと感じたところです。2点目の提案事業者の専任性の部分でスタッフ配置ですが、事務局としてはスピード感などを意識して専任のスタッフが必要だと判断をしたかと思います。ただ、議論の中で各委員がおっしゃったように、事業者側としては利点として提案したという見方もあるという点を考慮しますと、減点せずに二次審査でスタッフ常駐の考え方を各事業者に確認するというのも1つの方法なのかなと感じたところです。</p> |
| 委員Ⅲ | <p>ローテーションが4名で1名が区で業務を行っている時に、残りの3名がどのような業務形態なのかというのも気にはなるところで、このプロジェクトに関わっているのかどうかという点も採点に影響があるのかなと感じました。</p> |
| 委員Ⅰ | <p>私も皆様の意見と大体同じです。1名ですっとコミュニケーションを取るとい方が望ましいというのは理解できますが、二次審査の際に4名はどのような考え方で、その4名が切り替わるのかなども含めて聞いてみるのもいいかなとは思っています。そのため、結論としては、特にこの場では減点はしないということによろしいのではないかと思います。そのようなことで事務局は受</p> |

| | |
|-------|---|
| 事務局 | <p>けとめていただいでよろしいでしょうか。</p> <p>承知しました。では、減点はしない形で資料を修正します。そのほか各委員の皆様から、講評などをいただいて、点数の確定をお願いしたいと考えております。</p> |
| 委員長 | <p>それでは今の報告・相談事項について修正内容を承認します。事務局は引き続き一次審査結果の報告をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>修正後、事業者1は2313点、事業者2は2297点、事業者3は2062点となりました。</p> |
| 委員長 | <p>それでは、審査について意見交換を行いたいと思います。各委員から採点内容についての説明や、提案内容に対する意見等をお聞かせください。特に3点以上採点に幅がある項目につきましては、評価の理由もお聞かせください。</p> |
| 委員II | <p>事業者1が一番高く、事業者3が低いという順番でした。事業者1については、採点をよく知り尽くした提案となっていて、模範解答の1つなのかもしれないし、できるかどうかは別として提案書としては、点数が高くなってしまふのかなという形でした。事業者2はドローン関係などがとても強く、実績はあるというのはよくわかりましたし、事業者3は、AI関係とか、メタバースとか、その辺りはとても力があり、実績もあるということが提案書を見てわかりました。私が採点したところで3点以上の差がついたところですが、基本的に要求事項については3点以上が要求を満たしているということなので、2点をつけることについては躊躇がありました。事業者3について2をつけたところは、2.6のプロジェクト管理のところの下3つであり、他の委員の方も2をつけていますが、どこを見ても書いてあるようには読めなかったもので、これはすごく悩みまして3にしようかと思いましたが、やはり書いてないものは書いてないので、2にしました。また提案事項は何も記載されてないでもいいですが、2.5の事業者3が私だけ1になっていますが、こちらもどこに書いてあるのかよくわからず、1という採点をしました。</p> |
| 委員III | <p>私は特に皆さんと点数が大分変わってしまったところとしては、要求事項に記載されている内容が全部満たしていないというものが、いろいろありまして、例えば、2.1の新技术に関する先進事例の調査情報提供のところですけども、(1)で、動向や他自治体等での活用事例について最低毎月1回情報提供、提案を行うことってところが要求事項としてあるのですが、事業者3の提案書には大体、最低毎月1回という表現がないというところで不十分だと判断しました。他の項目に関しても、大体要求事項に記載されている内容が漏れているという内容で、不十分だというような点数をつけさせていただいているところです。</p> |
| 委員IV | <p>私自身は全体通しての、各社3者とも大幅に差をつけないような評価となりました。特にその要求事項に関しては基本的にすべて要件を満たしていると</p> |

| | |
|----------------------|---|
| <p>委員 V</p> | <p>いうふうに解釈をしたので、書いてないところがあるというようなご指摘もあると思いますが、私は要求事項に関しては基本的に全部満点をつけています。提案のところで若干その差をつけていますが、3者ともおそらく委託すればどこの事業としてもきちんと実行できるだろうという判断をしていますので、それ以外のプレゼンないしは価格のところで、評価をして差し支えないかなという解釈で点数をつけました。</p> <p>私は事業者1については提案書が全体的に丁寧に、現状とか対応策ですとかそういったところが記載されていると感じました。最初の方の事例の調査、情報提供ですとか、最後の方のプロジェクト全体管理など、支援事業者として頼りに思える記載内容だと感じました。一方でドローン、メタバースなどの新技術の活用に関しては、これから一緒にやっていくところの調整が多だろうと感じました。総じて、提案書全体の丁寧な書きぶりで評価があがっています。事業者2は、事例調査情報提供、ドローン、メタバース、プロジェクト全体管理のすべてで実践された実績が記載されていて、提案書全体で実現性などの面で安定感があるのだろうと感じました。ただ、もう少し提案書の内容に力を入れてもらえるとさらに実績がある分、評価があがったと感じたところです。事業者3は今回の提案にあたっては提案書作成で準備が不足しているなど感じました。項目としてちょっと読み込めないような部分もありました。もう少し提案書作成に努力してもらえると評価が違ったのではないかと感じました。ドローン、メタバースなどの実績は、十分なものが期待できるものだと感じました。提案書の作り込み全体は、1番2番3番の評価としたところです。ただ、今年度事務局がたどり着きたいとしているドローン、メタバースの実証実験などについては、2番3番の事業者の実績が十分なものなので、ヒアリングなどで事業者の意欲ですとか、そういったところを聞いてみたいなど考えています。</p> |
| <p>委員 I</p> | <p>提案書そのものを見たときに事業者1が一番丁寧に書いてあり、それが基準になっています。項番とかの対応もよくできているので、読みやすいという感じで、それに反して2番が項番のナンバリングがずれていたりして、もうちょっと労力をかけたらなど、実績はあるということも認識しています。3番はもう少し時間かけてほしいという感じはありました。ただ、どの提案書も作り込みのレベルの話をしていて、中身自体にそんなに差があるのかどうかかわからず、提案し、丁寧に書いてあるから正しいのかとか、実行可能かっていうのはまた別の話ですが、提案書の出来に評価が注力してしまっているというところがあり、1が高くて2と3が若干低めになっているということです。</p> |
| <p>委員長 委員 IV</p> | <p>他の委員の意見などを踏まえて、修正などありましたら発言してください。全体通して特に要求事項に関しては満点をつけていますが、今ご指摘のあったプロジェクトマネジメントに関する部分について、説明が足りないという</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員Ⅱ | <p>ことで、事業者3の2.6の項目に関しては全部一段階下げて4点ずつにしてもよいかと思えます。</p> <p>要求事項について3点以上は必要なのではないかとということもあり、本当に削ってよいのかとも思いましたが、事業者3の2.6についてはあまり書いてないと思えます。ただ、対応できないわけではないだろうという点から、2点台をつけることはすごく躊躇したところです。今回、いずれも実力のある事業者からの提案となっていて、話は聞いてみたいとも思えます。その中で、2点以下だと要求を満たさないということであれば3にしてもよいかと思っています。</p> |
| 委員Ⅴ | <p>今の2.6の項目のところで、(1)と(2)についてですが、複数サービスの知見を有するメンバーを常駐させ、スムーズな交流を図るという記載も見られたので、評価を1つずつあげて3という評価に変えたいと思えます。</p> |
| 委員Ⅲ | <p>私の方もこの事業者3に対して結構2点を付けているところが多いですけど、こちらの理由としては、結構実績のアピールに特化している、今までやってきましたということだけ書いており、実際に要求事項に対してやりますという書き方ではなくてあくまでも経験だけ書いているというところでどうしても、不十分な点数となっていますが、経験しているからできると読めるということであれば、3にしてもよいかなと思えます。</p> |
| 事務局 | <p>事業者2の2.6の(4)については、別途指定した場合を除き、各打合せに出席するという要件への回答が読み取れませんでした。</p> <p>事業者2の提案書の29ページに内容は不十分かとは思いますが、会議に関する記載があります。</p> |
| 委員Ⅲ | <p>内容としては2点になるかと思えます。</p> |
| 委員Ⅱ | <p>提案事項に1点がありますが、要求事項ではないため、問題無いかと思えますが、いかがでしょうか。</p> |
| 委員長 | <p>事務局の考えを教えてください。</p> |
| 事務局 | <p>提案事項のため、1点でも致し方ないと考えます。</p> |
| 委員長 | <p>事務局は各委員の修正内容を資料に反映してください。</p> |
| 事務局 | <p>修正を行いました。修正の結果、事業者1については点数の変更無く2,313点。事業者2については一部修正あり2,298点。事業者3は一部修正あり2,093点となりました。</p> |
| 委員長 | <p>それではこれで一次審査結果を確定ということによろしいでしょうか。 (一同、異議なし)</p> |
| 委員長 | <p>それでは、これで一次審査結果を確定いたします。</p> <p>次に、審査結果を踏まえ1次審査通過事業者を決定します。第1回選考委員会において、1次審査の通過者を最大3社程度としていますが、今回提案があった事業者3社となりました。3社とも得点率が6割を超えていますので、3者とも通過者とするということによろしいか、ご意見がありましたらお願い</p> |

| | |
|------------------------------|---|
| <p>委員長</p> | <p>します。 (一同、異議なし) それでは、審議の結果一次審査通過者は、事業者1、事業者2、事業者3といたします。</p> |
| <p>委員長 事務局 委員長</p> | <p>【3 二次審査結果について】 次に、次第3の二次審査についてです。事務局から説明をお願いします。 (事務局から、資料3～5に基づき説明) この件について何か質問等ありますか。 (一同、質問等なし)</p> |
| <p>委員長</p> | <p>それではこの内容で二次審査を実施したいと思います。決定事項を踏まえて、事務局は一次審査通過事業者への通知をお願いします。 予定された議題は終了しました。次回の第3回選考委員会は、5月31日金曜日午前9時から開会したいと思いますので、よろしくお願いします。 それではこれで第2回港区新技術検討支援業務委託事業候補者選考委員会を終了します。</p> |